

# 生物学研究室

## プロフィール

### 1. 教室員と主研究テーマ

准教授	佐藤 正樹	口腔感覚に関する生理学的研究
嘱託教員	橋本 貞充	口腔上皮に関する組織学的、病理学的研究
客員教授	遠山 光則	

### 2. 成果の概要

#### 1) 佐藤正樹: 歯の欠損に伴う咀嚼筋ならびに口輪筋の機能低下に関する研究

歯の欠損に伴う咀嚼機能の低下は義歯等で補うことができるが、補完率は決して高くないため、咀嚼機能の低下に伴う栄養摂取効率は低下する。加えてエネルギーが低下するため運動の機会が減り、筋力低下を誘導することが知られている。全身性の筋力の低下と顔面、口腔の筋力低下に伴う機能低下（オーラルフレイル）との関係を明らかにするために、マウスを用いた前歯欠損モデルを作成し、筋への影響を解剖生理学的に検討する（私立大学ブランディング事業、顎疾患プロジェクト、咀嚼嚥下機能グループ）。

#### 2) 橋本貞充: 口腔粘膜および唾液腺の intercellular junction と唾液分泌機構に関する免疫組織細胞化学的および超微構造的研究 (A75-0160-6、A75-016-12)

口腔粘膜および唾液腺組織の微細構造や機能を形態学的および細胞生物学的に解析し、細胞内のタンパク輸送機序や分泌機構を明らかにすることを目的としている。特に唾液分泌では、唾液の大半を占める水の経細胞および傍細胞輸送機構に焦点をあて、分泌時のタイト結合構成タンパクの変化を検討するために、細胞骨格や tight junction の変化を共焦点レーザー顕微鏡、免疫電顕法、凍結超薄切片法、急速凍結フリーズフラクチャー法を用いて解析を試みている。人工灌流顎下腺を用いた共焦点レーザー顕微鏡による LIVE 像観察や凍結超薄切片免疫電顕の所見から、開口分泌にともなう細胞骨格の再構成の際に、タイト結合の形態、機能が変化して細胞間隙の透過性が亢進することを明らかとした。

### 3. 研究活動の特記すべき事項

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演 題	学会名	開催地
橋本貞充	2022. 7. 31	歯周組織の変化を見つめなおす	日本臨床歯周病学会 40 周年記念大会	横浜

### 4. 教育に関する業績、活動

共用試験

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
佐藤正樹	2023. 2. 17	共用試験 CBT 本試験	試験監督	本校
佐藤正樹	2023. 3. 7	共用試験 CBT 再試験	試験監督	本校
佐藤正樹	2023. 2. 27	OSCE	入力係	本校